

～2023-24年度主題～

- 国際会長 ウルリック・ラウドセン (DK)
"Let Your Light Shine" (輝かそう、あなたの光を)
- アジア太平洋地域会長 利根川恵子 (川越C)
"Be the light for change" (改革のための光となろう)
- 東日本区理事 山田公平 (宇都宮C)
"Instill Confidence in our Youth" (未来のために今、学びと気づきを！)
- クラブ会長 今城高之
"Enjoyment first and foremost!" (楽しく、何はさておき楽しく！)



- 2023-24年度
クラブ役員
- 会長 今城高之
 - 直前会長 辻 剛
 - 副会長 鈴木茂
 - 書記 岡田美和
 - 会計 横田孝久

今月の聖句

「しかし、わたしは言うておく。
敵を愛し、自分を迫害する者の
ために祈りなさい。あなたがたの
天の父の子となるためである」

マタイ5・44-45

7月本例会次第

日時 7月28日(金) 17:30～
場所 かけはし都筑
司会 辻 剛、受付 今城宏子
＝プログラム＝

1. 開会点鐘
2. ワイズソング・ワイズの信条
3. 今月の聖句
4. ゲスト・ビジター紹介
5. 会長挨拶
6. クラブ総会 (議長:会長)
7. 役員就任式
8. 湘南・沖縄部長公式訪問
黒川 勝部長
9. 活動報告等
10. YMCA報告
11. Happy Birthday (敬称略)
7/11 岡田美和
7/12 杉本千津子
7/17 坂口直樹
7/31 今城高之
9. アピール等
10. 閉会点鐘

《巻頭メッセージ》 2023-24年度クラブ会長 今城高之

制度上の区分けが2類から5類に移行したとはいえ、コロナの脅威が減った訳ではありませんが、この所は感染拡大のニュースも余り聞くこともなく、私達の生活も次第に以前を取り戻している感があります。でも、油断禁物。コロナと上手に付き合う術を身に着けて、今年度も頑張りたいと思っています。

と申しますのも、私は、昨年度に引き続き、今年度もクラブ会長を務めることになり、どんな会長主題を皆様と共有して、一年間のクラブ活動を進めるかにつき思案してきました。コロナ禍の3年余の時間を取り戻すのは容易ではない、というより、不可能だと思います。その間にメンバー全員が等しく齢を重ねましたし、健康を害された方もおられるし、クラブ活動の継続を断念された方もおられます。コロナが去っても、昔のクラブに立ち戻ることはできないのが現実です。新しい環境に即して、クラブメンバーお一人ずつの状況を考慮して新しいクラブライフを構築するのが今年度の命題ではないかと思っています。そこで、ワイズの原点、ワイズの本質に戻り、安全と安心を確保しつつ、皆が楽しく参加することのできる活動を徐々に再開し、また、新たに構築してまいりたいと考えています。

前にも申し上げましたが、ワイズの良さは楽しいクラブライフを通じて、メンバーが楽しく交わり合うことだと思います。この

とを今一度思い出し、メンバー全員が「楽しい！」と感じられるようなクラブにするにはどうすればいいか、皆さんとご一緒に考えて行きたいと思っています。そこで、今年度の会長主題を、昨年と同じ「楽しく、なにはさておき楽しく！」を掲げることとしました。この主題のもと、皆さんと共につづきクラブの再生を図りたいと思っています。

クラブの再生で最も重要なことのひとつとして、会員増強が挙げられます。単に会員の数が多ければいいというものではありません。しかし、ある程度の仲間が確保できなければ、やりたいこともできないことが多いのです。個性ある多くの人たちが集い、共に語らい、その中から、新しいアイデアが生まれ、それが、新しい活動に繋がるのだと思います。これまで、常に“会員増強”を取り組み課題に掲げてきましたが、顕著な成果が生まれていないのは、最善の取り組みとなっていなかったからではないでしょうか。残念ながら、今この場で、「こうしましょう」と言えるものは持ち合わせていませんが、皆さんとご一緒に、語り合い、考えて参りたいと思います。他クラブの成功例なども伺い、大いに参考にしようではありませんか。今年度最後の例会の席に、一人でも二人でも、新しい顔を見ることができるよう、ご一緒に努力しましょう。

今年度が、私達のつづきクラブの再生元年になるよう心より願っています。



6月のデータ

例会出席	13名	在籍会員数	15名	各種記録	6月実績	年度累計
メンバー	12名	月間出席者数	12名	スマイル	11,000円	56,000円
ビジター	0名	メ・キャップ	1名	—	—	—
ゲスト	1名	月間出席率	87%	—	—	—

“To acknowledge the duty that accompanies every rights”

《2023年7月事務例会報告》

日時：2023年7月11日（火）17:00~19:00

会場：夢Café

司会：今城高之会長 報告：岡田美和書記

出席者：今城H・T、岡田、大野、鴨下、

鈴木K・S、横田（8名）

1. 開会点鐘・黙祷 今城高之会長
2. 会長挨拶 今城高之会長
3. 審議・検討事項
2023-2024年度クラブ総会に向けての準備
 - 1) 2022-2023年度事業の振り返りについて
 - 2) 2022-2023年度決算報告（案）について
 - 3) 2023-2024年度活動方針（案）について
 - 4) 2023-2024年度行事日程（案）について
 - 5) 2023-2024年度担当表（案）について
 - 6) 2023-2024年度役割分担（案）について
 - 7) 2023-2024年度予算（案）について
 - 上記の各案件につき、会長および会計担当より説明があり、その後質疑が交わされました。
 - 質疑の結果を踏まえて提案資料を更新し、来る7月28日のクラブ総会に提案される。
4. 今後の予定について
 - 1) 7月度本例会・クラブ総会（7/28）
黒川部長公式訪問。新役員就任式。
 - 2) 8月度本例会（8/25 @夢Café）
 - ①クラブ例会に引き続き、You & Iコンサートキックオフミーティングを行うべく準備を進める。参加する運営委員会メンバーの皆さんも、クラブ納涼会にお招きする（但し、会費制）

②クラブ納涼会は、従来の手作りは辞めて、ケータリングとする。次週のTKBで内容の検討を行っていただくこととした。飲料関係については横田ワイズにお願いした。

5. 今後のYMCA活動への参加について
 - 1) 第30回AIDS文化フォーラム
8/4（金）～8/6（日）@神奈川県民センター
テーマ“未来をみつめて”
 - 2) 第27回インターナショナルチャリティーラン
10/14（土）
 - 3) 北Yまつり 11/3（金）
6. アピール・報告
 - 1) ウクライナ支援の手編みマフラーの贈呈につき、再度実施するか否か、意見交換した。
 - ・昨年分の余部がある
 - ・協力して下さった方々がおられ、再度の協力をお願いできそう。
 - ・横浜YMCAの窓口「みどりの会」の意向を鴨下主事に質して頂く。その後、鴨下主事より、「みどりの会」の担当者は継続を希望しているとの情報を頂く。
 - ・ワイズ、関係教会等に呼びかけて、余り毛糸の提供が得られないか探してみる。
 - 2) 鴨下主事より、2023年度横浜YMCA オリジナルチャリティーランTシャツ販売のお知らせがあった。直接注文、鴨下主事経由何れも可能とのこと。
7. 黙祷・閉会点鐘
閉会後は中華レストランにて会食。

(岡田美和・記)

《お願い！》

私達のクラブでは昨年に引き続き、今年も冬に向けて手編みのマフラーを作り、主に横浜在住のウクライナから避難してこられた方たちに差し上げたいと考えています。本誌読者の皆様で、使わない「毛糸」の在庫をお持ちで、処分を考えておられる方がおられれば、是非、私達に使わせて頂けないでしょうか。色や質は問いません。クラブのTKBメンバー、外部の賛同者がマフラーを編んで下さり、完成品を横浜YMCAが関わっているウクライナ避難民の方々のグループ「みどりの会」を通じてお配りしたいと考えています。ご賛同いただける際は、ご面倒ですが、下記までお送りいただくか、お近くであればご一報いただければ頂きに参ります。

連絡先/送付先： (224-0001) 横浜市都筑区中川1-2-A1003
今城高之（クラブ会長）
Tel：045-913-1715
✉：timajo913@tuba.ocn.ne.jp

クラブメンバーの皆様へ

新しい年度が始まりました。年会費の振り込みをお願いいたします。1年分または半期分、ご都合に合わせて以下の口座宛お振込み下さい。

横浜銀行菊名支店
普通預金口座 1330228
口座名：横浜つづきワイズメン
&ウィメンズクラブ



《2023年6月度本例会報告》

日時：6月23日（金）17:30~19:30

場所：かけはし都筑

出席者：相賀、今城T,H、大野、岡田、鴨下、
鈴木K,S、辻Ta、Ts、横田（11名）
坂口、岡崎（懇親会）

司会：今城宏子 受付：鈴木恭子

～議事概要～

- 1.開会点鐘：今城高之会長
- 2.ワイズソング・ワイズの信条唱和 一同
- 3.今月の聖句と祈禱 相賀チャプレン
今月の聖句：「主は平和を宣言されます。御自分の民に、主の慈しみに生きる人々に。彼らが愚かなふるまいに戻らないように。」（詩編85編9節）
- 4、会長挨拶
●東日本区大会（6/3、4）においてつづきクラブは最優秀クラブ賞を受賞。その他にも5つの賞を頂いた。
●胡麻尻さんが体調不良のために退会される。（会員16名から15名に減少）
- 5、ゲスト・ビジター なし
- 6、卓話 『ワイズ』とYMCA
卓話者・鈴木茂ワイズ
「ワイズ」とYMCAそれぞれの歴史・使命と現況について、以下のような項目別に分かりやすい説明があった。
①「ワイズ」の定義と「ワイズ」のモットー・綱領・目的
②「ワイズ」の使命
③「ワイズ」の特質
④「ワイズ」の誕生
⑤日本のワイズメンズクラブの歴史
⑥ワイズメンズクラブの現状（世界、アジア太平洋地域、東日本区、湘南・沖縄部）
⑦ワイズメンズクラブの組織（国際、東日本区）
⑧ワイズメンズクラブの活動（会費、地域奉仕、YMCAサービス、国際・交流、会員増強、メネット事業、
⑨YMCAの誕生と使命（YMCAの生い立ち、パリ基準、カンパラ原則、日本YMCA基本原則）
⑩YMCAの現状（世界、日本、学生YMCA）
⑪横浜YMCAの現況（会員組織、運営組織、事業活動）

7、協議・報告

今城会長から東日本区大会の様子につき概要報告があった。来年は北海道の十勝で開催される。

8、YMCA報告 鴨下館長

エイズ文化フォーラム開催（8/4～8/6）の案内。

9、Happy Birthday

横田孝久さん（6/10） 大野君枝さん（6/21）

10、アピール・スマイル

11、閉会点鐘 会長

※終了後“SALVATORE CUOMO”にて坂口さん、岡崎さんも参加して懇親会を行う。

会費は3000円で、差額費用はクラブ会計より補填。



例会風景（上）と Happy Birthday（左）

以上（鈴木 恭子・記）

《TKBお仕事会》

毎月第3水曜の午後にTKBのお仕事会が開かれ、東日本大震災被災地の高齢者施設と保育所へ送るバースデーカード作りを行います。7月は金魚の絵柄でした。



《特別寄稿》

東日本区定款改定の経緯 ～その3 最終回～

元東日本区定款改訂委員会委員長 辻 剛（つづきクラブ）

(5) 改訂委員会の委員構成

伊藤幾夫（東京多摩みなみ・WT）、小倉恵一（副委員長・甲府・WT）、清水弘一（石巻広域・WT）、田中博之（書記・東京多摩みなみ・WT）、辻剛（委員長・横浜つづき・WT）、宮内友弥（東京武蔵野多摩・WT）、吉田明弘（東京西・WT）、山本雅之（十勝・北海道部長）、長岡正彦（もりおか・北東部長）、片山啓（茨城・関東東部部長）、青木一芳（千葉・関東東部代表）、細川剛（東京・東新部長）、浅羽俊一郎（東京山手・あずさ部長）、若木一美（横浜とつか・湘南・沖縄部長）、鈴木忠雄（三島・富士山部代表）、長谷川あや子（東京八王子・委員長推薦）、仙洞田安広（甲府・委員長推薦）、渡邊大輔（東京武蔵野多摩・委員長推薦）、工藤丈夫（東京ベイサイド・委員長推薦）、高津達夫（東京むかで・委員長推薦）、小山憲彦（東京サンライズ・東日本区事務所所員）、渡辺隆（甲府・直前理事）、栗本治郎（熱海・次期理事）、利根川恵子（理事・オブザーバー）以上、23名（注）

（注）メンバー構成はWTの委員、各部の代表、委員長推薦者、各年齢層代表などで構成するよう務めた結果、かなりバランスのとれた構成になった。

(6) 改訂委員会の活動状況

2016-2017年度第1回区役員会第3号議案により、東日本区定款見直し作業の最終段階を担う組織として当委員会の設置が承認された。第1回委員会（2016年7月30日）、第2回委員会（2016年10月23日）、第3回委員会（2017年2月24日）、第4回委員会（3月19日）、第5回臨時委員会（2017年3月26日）、と計5回開催された。

1. 2017年2月24日、予定された3回の委員会では時間不足になる恐れが出てきたので、2017年2月24日に第4回委員会の追加を決定した。第3回、第4回委員会は、20：00まで（おにぎり、サンドイッチをほおぼりながら）頑張った。
2. 議論の中心は、もちろん「タキ台」の検討であり、各部、各クラブ、各委員が指摘した意見、事項について徹底的に議論を行い、都度結論を出し、委員会としての統一見解をまとめた。今回の検討の主なポイントとしては、以下が挙げられよう。
3. 定款改訂の基本的スタンス
 - a. 現在の東日本区の組織、制度等を全面的に見直すのではなく、現行定款を時代に即し、また現実の運用面と整合性のとれるように改訂する。組織、制度などを全面的に見直すのは、近い将来「法人化」の検討を行う機会を得た時に考えることとする。
 - b. 委員会の改訂案は、国際憲法から大きく逸脱するような改訂はない。むしろ一部の条文については国際憲法の英文により近く和訳したものはある。

2016年12月3日、検討の結果、「定款前文」については公募することにし、「定款前文」の公募通知を行った。（公募期間：2016年12月10日-2017年3月10日）。最終的な応募数は、記名4名、匿名が2名であったが、いずれも素晴らしい案だった。第4回委員会が、時間切れになったので、利根川恵子理事（川越）、栗本治郎次期理事（熱海）、宮内友弥次々期理事（東京武蔵野多摩）、若手代表として渡邊大輔委員（東京武蔵野多摩）、改訂委員会の辻剛委員長、小倉恵一副委員長、田中博之書記（東京多摩みなみ）、の協議に一任された。3月26日の第5回臨時委員会にて慎重に審査し、全応募作を参考にして最終案を決定した。

この前文は、審査にあたった国際憲法審査会のクロチ委員長から以下のようなお褒めの言葉を直接いただいた上に、YMI Worldにも掲載された。「この東日本区定款の前文は、ワイズの本質、すなわち、国際協会、クラブ、区および区内の各部、そして会員それぞれの役割、目的が見事に要約されている。これこそよりよい世界のために行う私たちの愛と奉仕についての完璧な定義であり、これを皆さんと共有することは私の喜びであり光栄とするところであります。」

2017年3月28日、東日本区定款改訂委員会は、利根川恵子理事に「東日本区定款改訂（案）」および「東日本区定款前文（案）」を答申した。利根川理事は、同年4月8日・9日開催の第3回東日本区役員会に提案し、前文の一部修正を条件に承認された。

4. 代議員会、国際議会の承認

2017年6月3日開催の年次代議員会に諮り承認を得た。年度が変わり2017年度8月の臨時代議員会に2回目の承認を諮り、郵便投票により承認された。その後年内は、国際議会への承認申請に備えて英文への翻訳作業に集中した。翻訳にあたっては、田中博之ワイズと利根川恵子ワイズのお二人に大変お世話になった。

年明け早々国際議会へ承認申請をおこなったところ、2018年3月19日付けで国際議会（ヘンリー・グリンドハイム会長）は、国際憲法審議会（シルビア・レイエス・デ・クロチ委員長）に対して承認申請を行い、その推挙により東日本区定款を承認する旨の連絡があり、承認が得られた。

こうして2014年12月に「定款改訂の提案」を答申して以来、「区定款見直しワーキングチーム」が発足、計11回にわたる会合を重ね最終的な「タキ台」を作成し、「東日本区定款改訂委員会」にて5回にわたる審議の結果足掛け5年をかけて「改訂定款」が完成し、2018年7月1日をもって発効した。なお、今回の承認にあたって国際議会より定款改訂後変更された「クラブの設立のための最少人数をはじめ事務的修正など4カ所の修正要請があり実施した。

改訂作業に携わってくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。（完）（辻 剛・横浜つづき）

《会議報告》 第3回湘南・沖縄部評議会

日時 2023年6月24日(土) 15:00-17:00

場所 湘南とつかYMCA

小松仲史部長の開会点鐘で開会。

司会は板崎淑子部書記(鎌倉C)

会場を取り違えた参加者が多く、開会式に次いで報告・連絡事項に進むこととした。

参加者全員でワイズソング、ワイズの信条を唱和、三上担当主事(鎌倉C)による聖書朗読と祈祷をもって開会礼拝を行った。

小松仲史部長より開会の挨拶があり、その中で、一年間の協力に対する謝辞が述べられた。

次いで、部長並びに部事業担当主査による活動報告、YMCAより7月以降の行事予定についての説明・報告がなされた。

遅れていた出席者が会場に到着したので、改めて出席者数、委任状数を確認、定足数を満たしていることから評議会の成立が宣言され、議題に沿って議事を進めた。

第1号議案：提案者 小松部長

会員増強支援の観点から、新クラブ設立時ならびに新規入会時の入会金(6,000円)を部が負担することを部

則施行細則第4条として加える件につき、提案があった。部の財政が逼迫していることを理由に、部則に明確化することを反対する意見もあったが、会員増強の緊急性に鑑みて、賛成が多数を占め承認された。

第2号議案：黒川勝新部長(八景C)

部長方針と事業計画(案)が提案され、多数の賛成により承認された。なお、新年度の部長主題は「初心に帰り、新たな船出に踏み出そう」(副題:ワイズメンズクラブはYMCAと共に)

第3号議案：黒川勝新部長提案

提案の新役員体制(部役員+各クラブ会長)が承認された。つづきクラブでは、辻剛ワイズが部監事に就任。

以上で予定された議事が全て終了。峯尾監事より、評議会出席義務者を実態に見合ったものに変更すべきではないか、等の講評があって、予定の17時に閉会した。

なお、当クラブから、今城高之会長、鈴木茂両副会長が対面で、辻部監事がZoomでそれぞれ出席。他の義務者は今城会長に委任状を提出した。

(今城高之・記)

北Y便利

横浜北YMCAオルタナティブ部門 主任 関口 努



横浜北YMCAでは、今年度も運営方針に掲げている家族に寄り添うファミリープログラムとして、5月27日(土)から28日(日)の1泊2日で、「横浜北YMCAファミリーキャンプin三浦」を開催しました。健康教育部、オルタナティブ部門、菊名小学校キッズクラブの横浜北YMCA会員9家族、26名の申し込みがありました。

場所は、三浦YMCAグローバル・エコ・ビレッジです。コロナ禍が少し落ち着き、三浦YMCAも小中学校の体験学習などが増えてきて賑わいも戻りつつあります。その中で今年も2日間シーサイド施設を貸し切りにしてキャンプを実施しました。各部屋の内装は昔ながらの2段ベット、ロビーやトイレ、お風呂、研修室、体育館などは1昨年に改装されとてもきれいな施設でキャンプを実施する事ができました。

海のキャンプで1番心配な事は天気です。今年は、梅雨入り前の5月で潮目の良い時期を予定しましたが、この時期では珍しいほどの大型で強い台風が日本近海にあり、天候がとても心配されましたが、両日とも天候に恵まれ、キャンプ日和となりました。海のアクティビティーは、風、波の影響もあり1日目が磯遊び、2日にカヤックやサップの体験を実施する事ができました。今回は、整備中のためヨットの体験はできませんでしたが、前回のキャンプで実施していないサップにチャレンジし、ボードに乗る事の難しさを体感しました。

海のプログラム以外では、毎回恒例のバーベキューで盛り上がりました。火起こし、野菜を切り、調理係など準備から

片付けまでみんなで役割分担し、お肉、野菜、焼きそばなど十分すぎるほど食べおなかいっぱいになりました。デザートは別腹、割りばしにつけたマシュマロをこげないように焼き、ころあいをみて食べました。

キャンプ最後のプログラムはビーチクリーンとビーチコーミングです。海の自然を守ることと海のプログラムが安全にできることへの感謝をこめて浜辺の清掃をしました。どんなゴミがあるか、どんなものが浜辺に漂流するのかなどの学びもSDGsの取り組みを確認しながら実施できました。

キャンプ後には参加ファミリーにアンケートも実施させていただき、満足度も高かったことがうかがえます。次回は、9月にファミリーキャンプ第2段を予定しています。家族で寄り添う、家族に寄り添えるようにプログラムの準備をしていきます。今回、無事にキャンプが終えられたことをご報告します。



《特別寄稿》

ワイズライフで「ぼけの壁」を乗り越えましょう
直前会長 辻 剛

最近「ぼけの壁」(幻冬舎)を読んだ。著者は和田秀樹氏、精神科医で評論家とのこと。

「ぼけの壁」を乗り越え、幸せで明るい老後過ごすには「脳の健康寿命」を延ばす考え方・暮らし方をすべきと、脳を元気に保つ方法を以下の「20の動詞」にまとめています。

- ①遊ぶ、②歌う、③描く、④おしゃれをする、⑤飼う、⑥見物する、⑦深呼吸する、⑧推理する、⑨贅沢する、⑩育てる、⑪旅行する、⑫注文する、⑬飲みすぎない、⑭一人暮らしする、⑮太る、⑯楽観する、⑰料理する、⑱恋愛する、⑲論争する、⑳笑う。

これを見て私はこの「20の動詞」にもっとも当てはまるのが「人との交流=人付き合い」が中心のワイズライフではないかと思いました。まさにワイズ活動そのものです。

ある日の横浜つづきクラブの例会日です。自宅では普段はトレーナー姿ですが、Yシャツにワイズのロゴマークの入ったループタイ、ジャケットの襟にはワイズとYMCAのバッジといういでたち、これがワイズ式【おしゃれ】です。おしゃれは感情を若帰らせ脳を活性化させます。

開会点鐘を聞き、ワイズソングを【歌い】、ワイズの信条を唱和します。歌ったり、音読をしたりすることはぼけ予防に最も効果的な脳トレです。会長挨拶、今月の聖句の後議事に入り今年度の中間決算について会計より説明がありました。予算と実績に大きな差がある費目についてかなり熱心な【論争・議論】がありました。議論はいくつになっても脳の訓練になります。自分も大きく【深呼吸】をしてから発言しましたが、10秒で脳が元気になり、頭がスッキリしました。今後年度末まで予算通りに推移するかどうかわかりませんが、何とかなるだろうと【楽観】しています。おおむね「何とかなるさ」と明るく楽天的に考える人ほど認知症の進行は遅いものだそうです。(植木等さんの「スーダラ節」みたいな人生観がベスト?!)

協議事項ではコロナで中止になっていたグループホームに対する【料理】ボランティアの再開を検討することにしました。メニュー、調理手順、味付け、火加減

等々脳を様々に働かせる必要があります、手先も使うので、料理は恰好の脳トレです。

その後は皆さんのやり取りやYMCA報告・アピール・バースデーお祝いなどをのんびりと【見物】していたら閉会になりました。

閉会後は恒例の懇親会兼夕食会に出掛けました。昔よく利用したセンター南駅近くのイタリアンレストランがピザ窯を新装

開店したので行ってみました。みんなでメニューを見ながらワイワイ言いながら少し【贅沢】にたくさん【注文】しました。少々【太る】かもしれませんが、何でも人まかせにしていると脳はどんどん衰えていくみたいですよ。ビールで乾杯し、紹興酒まで進みますと相当に賑やかになり昼間の激論も忘れていました。ただし、【飲み過ぎ】には注意しましょう。

話題の中心は先日行った日帰りのバス【旅行】の思い出話で盛り上がりました。旅に出ると脳は間違いなく、よく働きます。

未知の環境では自然に好奇心が高まり観察力も注意力も働くそうです。みんなよく【笑い】ました。おかげさまで前頭葉の血流がアップしました。夜10時近くだったのでお開きにしました。三々五々帰宅につきました。なかにはご主人に先立たれ【一人暮らし】のワイズもいます。一人暮らしで家族に頼ることなく、自分の頭と体を使って生きることが認知症の進行を遅らせるそうです。「呼び寄せ同居」や「呼び寄せ近居」は、親の認知症悪化させる原因になるそうです。大きな問題が生じていないときは一人暮らしを続けられたいとのこと。

わずか1日の例会日でリストアップされたほとんどの【動詞】は実行できました。最後にワイズらしく【寄り添う】【祈る】【感謝する】の3つの【動詞】を追加し、難しいことは考えないでワイズで「生涯現役」を貫き「ぼけの壁」を乗り越えましょう!

(完)



(編集子)

▽年度が替わり、本誌のデザインを変えてみました。見てくれたごまかすうと。見つけた魂胆ではありませぬので念のため▽年度が替われば、クラブ役員は都合により、全員留任です。新たに、クラブ最年長の鈴木茂ワイズが次期会長含みで副会長に就任して下さいました▽昨年度末をもって、胡麻尻眞佐さんが健康上の理由により退会され、一名減のスタートとなりました。会員増強の年にしたいと考えています。読者の方でご関心の向きは是非ご連絡ください▽これからは、本誌がクラブの広報担当の役割を果たせらるよう、クラブの活動ぶりや取り組み課題などを前広に掲載して参りたと思っております。何卒よろしくお願います。▽クラブでは、冬の話が始まっていきます。昨年、つまたように、今年も手編みのマフラーをウクライナから避難してこられた人たちに贈ることを計画しました。お品を募ることにしました。